

- ◆企画名 コアラ☆ミュージアム第7弾「和～吟剣に励み～」  
 日程 平成27年4月1日(水)～5月29日(金)  
 場所 関西大学総合図書館内4ヵ所  
 参加者数 15名(ピア・サポータ4名、吟詩部11名)  
 目的

- ・連携先となる課外活動団体に、活動紹介・アピールの場を提供する。
- ・総合図書館に来た学生の興味・関心領域の拡張を促す。
- ・総合図書館に自習スペース以外の空間作りをする。
- ・KUコアラの知名度を上げ、他団体との繋がりを持つ。

#### 内 容

- ・本企画は、学内の課外活動団体と本コミュニティとの連携企画である。総合図書館内に関西大学文化会吟詩部の活動風景等の写真及びその説明文を展示し、学生に吟詩部の活動の様子や楽しさを伝える。
- ・展示場所：①1階エントランスカウンター付近、②階段、③2階人文系フロアトイレ前、④2階開架カウンター周辺
- ・広報：インフォメーションシステム、ポスター掲示、授業内宣伝を行った。授業内宣伝では図書館広報誌 KULione を配布し、本企画の広報と合わせて KU コアラの活動近況報告も行った。
- ・評価方法：回収 BOX に投函してもらった紙のアンケートと併用するものとして、展示場所にポスターとシールを設置し、観覧した学生自身にその場でシールを貼って評価してもらった。ポスターでは、本企画自体に対する感想を問うものと各展示写真に対する場所毎の感想を問うものとの2項目を制作した。

#### 効 果

- ・ポスターとシールによる評価について、「吟詩のことを知ることができた」という欄にシールが多く見られたことから、コアラ☆ミュージアムがおおむね高評価であることが分かった。
- ・吟詩部の活動を広く学生に知っていただき、知名度の向上に一役買うことができた。
- ・予定調整が上手くいかない中で企画班と密に連絡を取るよう徹したことで、打ち合わせの回数は少なくとも情報共有が正しく円滑に行える状況を作ることができた。

#### 改 善 点

- ・ポスターでの評価には多数のシールが貼られていたが、紙のアンケートの回収率は低く、今後実施するにあたり、紙のアンケートに代わるニーズ収集方法を考える必要がある。
- ・本企画は KU コアラと課外活動団体との共催企画であるが、KU コアラが共催しているというアピールが今回は足りなかったのではと考えられた。次回は、コアラ☆ミュージアムを見に来た方々に、両団体のことを知ってもらえるような展示内容にすることが望まれる。
- ・今後も企画を円滑に進めるために、KU コアラのメンバーや共催団体、図書館事務室の方としっかり連携する必要がある。

#### 感 想

- ・前回の反省を考慮し、企画班を4名に増やしたうえで仕事を分散させるようにした。企画班4名のみですらなかなか集まれず予定調整には苦労したが、その分メールなどのやり取りを密にし、余裕を持ったスケジューリングを心がけた。
- ・吟詩部の方の協力と図書館事務室の方の支援により無事展示を終えることができた。
- ・KU コアラの企画において、他団体とコラボレーションする企画、人目を引く長寿企画が「コアラ☆ミュージアム」である。責任者は共催団体とも図書館事務室とも連携しなければならず大変に感じられるかもしれないが、伝統を作るという意味でも、本企画が今後も行われていくことを強く期待する。